

研究業績説明書

法人番号	77	法人名	熊本大学	学部・研究科等番号		学部・研究科等名	教授システム学研究センター
------	----	-----	------	-----------	--	----------	---------------

1. 学部・研究科等の目的に沿った研究業績の選定の判断基準【400字以内】

教授システム学の分野において意義深い研究であること。学術的に価値が高いと評価されていること。

2. 選定した研究業績

業績番号	細目番号	細目名	研究テーマ 及び 要旨【200字以内】	代表的な研究成果 【最大3つまで】	学術的 意義	社会、 文化的 意義	判断根拠(第三者による評価結果や客観的指標 等) 【400字以内。ただし、「学術的意義」「社会、経 済、 文化的意義」の双方の意義を有する場合は、800 字以内】	重複して 選定した 研究業績 番号	共同 利用等
1	1304	学習支援システム	VUI(Voice User Interface)は、音声でコンピュータを操作できる、多くの人にとって直感的で認知負荷の小さいユーザーインターフェイスである。MoodleのようなLMSで利用可能であり、適切に設計されたコースで効果的に使用されている場合、学習者をコースに自然に導入する手段となり得る。VUIをMoodleに導入する例として、小テストをVUIで受験できるプロトタイプを開発した。	Toshihiro Kita, Chikako Nagaoka, Naoshi Hiraoka, Katsuaki Suzuki and Martin Dougiamas, A Discussion on Effective Implementation and Prototyping of Voice User Interfaces for Learning Activities on Moodle, 10th International Conference on Computer Supported Education (CSEDU 2018), #133 (2018.3.16) http://doi.org/10.5220/0006782603980404 喜多敏博, 長岡千香子, 平岡齊士: VUIの音声コマンドを用いたMoodle小テスト受験, Moodle Moot Japan 2018 (武蔵大学) プレゼンテーション 236-P (2018.2.22)	S	S	10th International Conference on Computer Supported Education (CSEDU 2018)での成果発表が、Best poster award の候補としてノミネートされた。 研究成果である音声コマンドは、Google Home や Amazon Echo の公式コマンド(スキル)としての審査を通過し、世界中で利用可能となっている。		
2			IDを活用した生活習慣病、介護予防に資する介入プログラムの開発 中高年の生活習慣病、高齢者の介護予防に資する食事・運動の検証、及びインストラクショナルデザインを活用した介入プログラムを開発している。自体重程度の負荷でも動作をゆっくり行うことで、筋肥大、内臓脂肪が減少することを、Randomized controlled trialで確認した。また本プログラムを兵庫県豊岡市で2000人に、また遠隔地でも支援できるよう、eラーニングを活用した介入プログラムを開発し、年間400人以上に実施している。	Tsuzuku S, Kajioka T, Sakakibara H, Shimaoka K. 2018. Slow movement resistance training using body weight improves muscle mass in the elderly: A randomized controlled trial. Scand J Med Sci Sports 28: 1339-1344.	S	S	インパクトファクター 3の Scand J Med Sci Sportsに掲載された。また同プログラムを展開している兵庫県豊岡市では、参加者の医療費が非参加者に比して、年間1人あたり10万円の削減効果のあることが明らかになった。		